

平成18年度

# 大阪府市町村ボランティア連絡会

連絡会

## 設立10周年記念講演会

平成18年度大阪府市町村ボランティア連絡会の総会と、連絡会の設立10周年を記念した講演会が開かれました。

総会では大阪府ボランティア・市民活動センターの山

田早苗所長が挨拶し、府レベルの連絡会の必

要性、共生のまちづくりなどについて述べたあと、各議案が滞りなく承認されました。

続く2部は、藤本統



講演する藤本統紀子さん

紀子さんによる『震災体験を通して考えたこと』～安心・安全に暮らせる住みよいまちづくりとは～と題する講演。藤本さんは阪神・淡路大震災を思い出しながら、当時ご自身も被災者でありながら、西宮北口に事務所を構えていた支援団体に寄付することで被災者を支援したこと、また、頑張れない人もいるなかで「頑張ってください」という言葉が「ときには人を傷つけることにもなる」など、言葉の大切さなどについて語り、参加者は熱心に耳を傾けました。

# 大阪府市町村ボランティア連絡会の10年をふりかえる

今年7月で設立10周年を迎えた大阪府市町村ボランティア連絡会。ここではその歩みをふりかえりながら、歴代の会長からコメントを寄せていただきました。

## 「原点」を見つめ直して、新たな歩みを! 初代会長 矢形律子さん

大阪府市町村ボランティア連絡会は1996年7月、二ヵ月後に開催された「第5回全国ボランティアフェスティバル大阪」を控えて発足しました。当時、府内には31の市町村でボランティア連絡会が組織されましたが、より広域的にボランティアの力を結集して、情報交換、交流を深めながら、よりよい活動を開いていくために、この31の連絡会が集まって結成されました。

重油回収ボランティア、また97年の「ふれ愛びつく大阪」(第33回全国身体障害者スポーツ大会)などの大きな催しにボランティアとして参画してきました。また機関紙の発行、福祉マップづくりや、さまざまな調査・研修、大阪府への提言なども行い、大阪府におけるボランティアの先導的な役割を果たしてきたと思います。

当時活動していた高槻市ボランティア連絡会が15年の歴史があるということで私が初代の会長に選ばれましたが、府レベルでの連絡会の必要性は前年の阪神・淡路大震災のときから言われていたことでした。つまり大規模な震災支援や、大きなイベントに際しては、どうしても広域的なネットワークが必要であり、大阪府市町村ボランティア連絡会の結成は、ある意味では歴史的な必然であったのかもしれません。いまではNPOを含めて、さまざまなスタイルの市民活動が台頭してきていますが、10周年を迎えるいま、あらためて無償活動の原点を見つめ直し、新たな歩みを進めることが大切だと感じています。

## みんなで力を合わせる」との大切さを痛感 2代目会長 大杉貞子さん



初代会長の矢形さんが築かれた連絡会を少しでも発展させることができれば、2000年から2年間、会長をお引き受けしました。新たに連絡会を結成してもらうために府内の市町村によく足を運んだものです。情報交換をし、自分たちの活動を客観的に見る目を養い、刺激しあうことが必要だと訴えました。

同時に、北摂、泉州といったブロックごとの交流・連携を図った時期でもあります。地域ごとに特色のある活動をすることで活性化につながればという思いがあり、ブロック交流会の開催を働きかけました。各地域がその地域特性を發揮することで、ボランティア活動の幅を広げたいと考えたのです。

ボランティア連絡会として、2000年に開催された淡路花博に協力したり、2001年の「おおさかボランティアフェスティバル」では、福祉体験コーナーを担当しました。さらに、「パリアフリー2001」に協力するなど、とにかくよく動いたなという印象があります。みんなで力を合わせると何かができる、一緒に体験することで仲間ができる…。素直にそのことを喜び合えた時期だったと思います。会長を務めさせていただくながで培われた人ととのつながりは、いまも私の大きな財産です。大阪におけるボランティアの下地がしっかりとしているのは、互いに連携しあってこそのことであり、その意味で、この10年間にボランティア連絡会が果たしてきた役割は大きかったと思っています。それを新しい世代のみなさんでさらに広げていっていただきたいと願っています。



2001  
35団体

このたび矢形会長が辞任されるにあたり、はからずも私が会長をお引き受けすることになりました。  
前会長のように立派にお役目を果たせるかを考えますと非常に心もとない感じがいたしますが、皆さんからありがたいご推薦をいたいたのですから、この連絡会により多くの市町村が加盟してくださるとともに、生き生きとした活動ができるように、一層懸命に努力する所存でございます。

不慣れな大役のことゆえ、事務局の方々にご助力をお願いし、会員の皆さま方の絶大なご指導とご協力を頼りにて、務めて参りたいと思っております。  
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

大杉会長の就任あいさつ

V No.10  
サイン

### 平成12年度 大阪府市町村ボランティア連絡会総会を開催

新会長に高石市の大杉貞子氏が就任

云々

2002

・北垣登美会長就任

・専門部会（広報、パリアフリー）

・ブロック交流会

・「アジア太平洋障害者の十年」最終年記

・念大阪フォーラム協力等

・ブロック会（広報、パリアフリー）

・リーダー研修会（講演「ボランティア・市民活動の今」、事例報告）

・韓国ボランティアとの交流（役員参加）

・専門部会（広報、パリアフリー）

・ブロック別交流会

・リーダー研修会（基調報告「災害時に求められるボランティアの役割」、実践報告「ブロック別活動交流」）

・専門部会（広報、パリアフリー）

・リーダー研修会（講演「ボランティア・市民活動の今」、事例報告）

・韓国ボランティアとの交流（役員参加）

・専門部会（広報、パリアフリー）

・ブロック別交流会

・リーダー研修会（基調報告「災害時に求められるボランティアの役割」、実践報告「ブロック別活動交流」）

・専門部会（広報、パリアフリー）

・ブロック別交流会

・リーダー研修会（講演「ボランティア・市民活動の今」、事例報告）

・韓国ボランティアとの交流（役員参加）

・専門部会（広報、パリアフリー）

・ブロック別交流会

・リーダー研修会（基調報告「災害時に求められるボランティアの役割」、実践報告「ブロック別活動交流」）



●1996年の「第5回全国ボランティアフェスティバル大阪」ではボラ連のメンバーが大活躍。



●1995年の阪神·淡路大地震では、ブタ汁・おでん等の炊き出し、救援物資の整理、人形劇の公演などが行われました。



●2003年の「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念大阪フォーラムでは、案内、誘導、介助、通訳など約500人のボランティアが活躍。



●1997年のロシアタンカーによる重油流出事故に際しては、「日本海を救おう！」と、重油回収ボランティア活動を行いました。

**10周年を期にさらなる発展を**

大阪府市町村ボランティア連絡会会長 山本啓一さん

高槻市社会福祉協議会会長 山本香憲さん

このたび大阪府市町村ボランティア連絡会が10周年を迎えることを、心よりお慶び申しあげます。

この10年の間に、ボランティアをとりまく情勢は大きく変わりしてまいりました。一つは、福祉の世界において「地域福祉」が大きなキーワードとなり、福祉の充実において住民のボランティア活動が欠かせないものとして位置づけられたという点です。いわば「あつたらしいな」から「無くてはならない」ものとして、その活動が社会（システムズ）のなかにビルトインされたと言つてもいいでしょう。二つめは、ボランティアの高齢化です。これは各市町村の現場で活動しておられる皆さんが誰よりも感じておられることがあります、メンバーの若返りは大きな課題であり、今後は学生を組織するなどのさまざまな方策が求められています。

三つめはNPOの台頭です。有償活動やNPOはもともと社協がカバーしにくい領域ではあるわけですが、その分、それらの団体はいい意味で「自立」した活動を開いています。

ボランティア・市民活動全体においても「自立」のあり方が大きなテーマの一つとなる中で、今後の団体の活性化に取り組む際にはこれらも十分に考慮して進めていく必要があると言えるでしょう。

そうした課題も持ちながら、10周年を期に、大阪府市町村ボランティア連絡会は新たな歩みを開始されること存じます。その社会的な役割が、今後ますます大きなものとなるのは言うまでもありません。さらなる充実と発展を心より祈念いたします。

いろんな「資源」に働きかけていくことも必要でしょう。たとえば、地域社会にはいろんな企業の事業所があり、市町村ボランティア連絡会がそうした企業にも働きかけ、従業員のボランティア活動を啓発していくことなども今後の課題かもしれません。また、何かとお世話をいただいている大阪府社会福祉協議会との、いい意味での緊張関係も大切ではないかと感じています。それぞれが意見を出し合い、実りある議論をし、そして地域社会に積極的に働きかけていく。こうした活動の要として、大阪府市町村ボランティア連絡会にますます大きな期待が寄せられているものと考えているところです。

いろいろ「資源」に働きかけていくことも必要でしょう。たとえば、地域社会にはいろんな企業の事業所があり、市町村ボランティア連絡会がそうした企業にも働きかけ、従業員のボランティア活動を啓発していくことなども今後の課題かもしれません。また、何かとお世話をいただいている大阪府社会福祉協議会との、いい意味での緊張関係も大切ではないかと感じています。それぞれが意見を出し合い、実りある議論をし、そして地域社会に積極的に働きかけていく。こうした活動の要として、大阪府市町村ボランティア連絡会にますます大きな期待が寄せられているものと考えているところです。

### 「横につながる」ことによる大きな意味

4代目会長 山本啓一さん

2005年5月より会長を務めさせていただいておりますが、

そんな諸先輩の後任ですからとても自信などなかったのですが、皆様のご支援をいただきながら、2005年までの3年間、会長を務めさせていただきました。

この3年間にはブロック交流会も定着し、また「アジア太平洋障害者の10年」という大きな催しもあり、このときには会員の皆様にはボランティアとして大いに活躍していました。だきました。連絡会を通じて3年間、他の市町村の皆様と交流し、そのなかで実際にさまざまなことを学ばせていただいたことは誠にありがたいことでした。

10年間、ほぼ順調に歩んできましたボランティア連絡会ですが、メンバーの高齢化が進むなか、若い後継者の育成が大きな課題となっていると思います。私自身も年々、体力も頭脳の働きもぶつております。今後はお若い方のエネルギーをいただき、今日までの皆さまのご協力に感謝しながら、私ができることをさせていただきたいと思つております。



2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

3代目会長 北垣登美さん

2002年の5月に、高石市の大杉さんの後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

4代目会長 山本啓一さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

5代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

6代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

7代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

8代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

9代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

10代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

11代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

12代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

13代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

14代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

15代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

16代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

17代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

18代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

19代目会長 山本香憲さん

2002年5月に、高石市の大杉さんは後をうけて会長に就任しました。初代会長の矢形さんは、実にテキパキリーダーシップを發揮して仕事をこなしておられましたし、大杉さんは民生委員としてのご経験があり、以前より府社協とも関わりがあつて、立派に会長職を務められました。

20代目会長 山本香憲さん

200